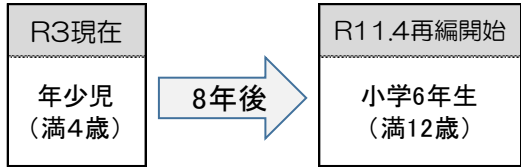


越前町小中学校の再編（案）についての意見

○寄せられた意見の状況：4人（10件）

寄せられた意見と教育委員会の考え方の概要			
No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方	更新日
1	<p>常磐小学校の統合については、児童への精神的負担を少しでも軽減させるために、糸生小学校と同時期に統合して欲しい。</p> <p>また、いきなり統合するのではなく、お互いの児童がコミュニケーションを取れるような配慮をお願いしたい。</p>	<p>小学校については、複式学級を保有している学校の再編を優先し、その後複式学級が見込まれる学校の再編を段階的に行いたいと考えております。将来的には各地区1小学校を検討しておりますが、児童数の推移を注視しながら進めていきたいと思っております。</p> <p>また、再編校の児童同士のコミュニケーションについては、事前交流活動として、合同で校外活動や各種行事、レクリエーションなどを行い、再編時には友達同士となって学校生活を送れるよう配慮していきたいと考えております。</p>	R4. 1. 24
2	<p>町の事情で統合するのであれば、学用品などを新たに買なおす場合の費用は町が全額負担すべきではないか。</p> <p>また、統合前の段階で、入学する学校を選択できるよう区域外就学について柔軟に対応すべきではないか。</p>	<p>学用品の購入については、保護者への負担を考慮し、町が補助できるような仕組みを考えております。金額など詳細については、別途設置する再編準備委員会の中で協議させていただきます。</p> <p>また、入学前区域外就学については、現時点では保護者の混乱を招く恐れがあるため、再編時には全学年同時に編入させていただきたいと思っております。</p>	R4. 1. 24
3	<p>校歌や学校訓などは新たに作り直すのか。馴染みの少ない学校の校歌などになると、戸惑い、今までの地域への愛情が薄まるのではないか。もし統合が進むのであれば、それぞれの地区の特色を盛り込んだ新しいものを作って欲しい。</p>	<p>校歌など、新校に関する調整事項については、学校再編準備委員会の中で協議していきたいと考えております。地域の方々や学校関係者などに参加して頂き、話し合いの中で決定したいと思っております。</p>	R4. 1. 24
4	<p>統合後の学校跡地をどうするか、町から具体的な方針を示して欲しい。廃校のままで残すことになるとう近隣住民の生活をおびやかしかねない。跡地のことも十分協議し、地域の理解を得てから統合すべきだと思う。</p>	<p>学校跡地の活用については、行政側だけで決められるものではないと考えます。再編が進めば、地域の方々の意向も踏まえ十分協議しながら進めていきたいと思っております。</p>	R4. 1. 24

寄せられた意見と教育委員会の考え方の概要			
No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方	更新日
5	学校の再編は地域の愛着を低減させ、まつりごとなどの衰退や人口減少に深く関与するものとする。今後、説明会を開催する場合、教育委員会だけではなく町の地域づくりに関わる方も出席して欲しい。	<p>学校は、教育活動以外に、防災や地域コミュニティの活動拠点としての機能を有していることは承知しており、地元の学校が再編の対象となることによる地域コミュニティへの影響を心配されることは十分に理解できます。しかしながら、学校は、子どもたちの教育の場としての機能が最優先されるべきものであり、そのために、適正規模・適正配置の取組を進める必要があると考えます。</p> <p>再編が進んだ場合、担当部局の協力を求めながら、町全体の課題として取り組んでいきます。</p>	R4. 1. 24
6	糸生小学校と朝日小学校の合併は、今現在の年長児もしくは年中児が卒業した後か具体的に教えて欲しい。年度で記載するよりわかりやすいと思う。	<p>糸生小学校と朝日小学校は令和 11 年 4 月を再編時期としておりますが、具体的には、現在の年中児が糸生小学校を卒業した後となります。</p> <p>(現在の年少児が 6 年生の時に再編が始まります)</p> <p>また、説明会など機会がありましたら、分かりやすく説明できるよう改善いたします。</p> <p>なお、再編スケジュールにつきましては、現時点での予定です。</p> <p>〔具体例〕</p>  <p>The diagram shows a box labeled 'R3現在' containing '年少児 (満4歳)'. A blue arrow labeled '8年後' points to a box labeled 'R11.4再編開始' containing '小学6年生 (満12歳)'.</p>	R4. 1. 24
7	小学校の再編に賛成。現在の小規模校には、デメリットが多すぎると感じる。今の環境で学ばせたい親は誰もいないと思うし、保育園時代の友人と学校生活を送ることなど、子どもたちのことを一番に考え、学校再編を希望する。	<p>学校再編については、賛成・反対など様々なご意見のある中で、地域住民の皆さまのご理解を得ながら進めていきたいと考えています。</p> <p>なるべく早い時期に、子どもたちの教育環境を整えることができるよう努力したいと思います。</p>	R4. 6. 6

寄せられた意見と教育委員会の考え方の概要			
No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方	更新日
8	小規模校については、集団生活に限られるなどのマイナス面もあるが、小規模ならではのプラス面もあると感じる。定期的に町内学校同士の交流を行うなど、小規模校のままでもいろいろな方法があるのではないか。	ご意見のとおり、小規模校にはメリット・デメリットがそれぞれ多くあります。その上で、越前町教育環境検討委員会での検討を踏まえ、これからの子どもたちの学校教育には、複式学級の解消、一定規模の子どもたちがいる学級が望ましいと考えます。 四ヶ浦小学校は当面複式学級となりませんが、城崎小学校が近い将来複式学級を保有する見込みです。越前地区の小学校は一つとなりますが、越前町として賑やかで楽しい学校づくりを目指す考えでおります。	R4. 8. 17
9	越前町の特色を生かしたオルタナティブスクールの検討をお願いしたい。また、他所からも来たくなるような居場所づくり、学校づくりを目指して欲しい。	新しい学校づくりについては、学校や教育委員会だけでなく保護者や町民などみんなで考えてつくり上げていく体制づくりを考えています。 現時点では、オルタナティブスクールの検討はありませんが、今後の一つのご意見として参考にさせていただきます。	R4. 8. 17
10	統廃合後の校舎については、産前の親から子ども、高齢者までの幅広い世代で利用できるような場にして欲しい。	学校跡地の活用については、学校づくりと同様、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。 新しい学校づくりを調整する学校再編準備委員会と同時期に、学校跡地検討委員会を立ち上げる予定ですので、幅広いご意見をお願いします。	R4. 8. 17